

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 28年度

市町村名	蓮田市					
提案事業名	郷土の歴史的遺産「国指定史跡黒浜貝塚」活用事業					
事業期間	27年度 ~ 27年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 黒浜貝塚の見学者・利用者の人数					
	(成果検証の具体的な方法) 市役所からのアクセス通路が整備されていない現状での黒浜貝塚への見学者数とアクセス通路が整備された後の見学者数を比較し、増減数及びその要因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	Ⓐ B C
	従前値 (26年3月時点)	11000人	目標値 (28年3月時点)	11420人	実績値 (28年3月時点)	14985人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	- -	稼働率 (%)	(目標) (実績)	- -
	住民への公表状況 及び特記事項	市ホームページにおいて目標値・成果を住民に公表する。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成27年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 市役所進入路整備事業	◎ △ ×	黒浜貝塚への利用者の経路に変化が見られ、進入路を経由しての移動が主体となり、ミニチュア土器を設置した東屋の利用者数も増加していることがうかがえる。
② 普及啓発事業	◎ △ ×	3月27日の国指定史跡黒浜貝塚自然観察会には、30名の参加をいただき、史跡内の自然環境について学びながら、古代の植生や今後の整備計画について周知すると共に、好評であったため今後も季節を変えながら実施し、啓発活動に今後も努める予定である。
③ 活用事業	◎ △ ×	雅楽谷の森フェスティバルにおける黒浜貝塚見学ツアーなどで304名、小学校歴史見学では6校433名の見学者など、文化財展示館来館者の集客力の向上が見られた。
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	市役所進入路を設置したことで、子供用の補助輪付自転車で利用する親子連れ、散歩での利用者、前述のとおり東屋の利用者も増加していることがうかがえることから、リピート客の増加に寄与し、市民の郷土愛の醸成やシティセールスを推進することができた。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	黒浜貝塚の整備事業を推進し、市役所来客駐車場利用者やJR宇都宮線乗客から見える懸垂幕及び横断幕の設置、整備事業計画の配布、HP等を活用することにより、市民・県民への周知をさらに推進する。